

 **アロン CU継手**

屋外排水用可とう継手

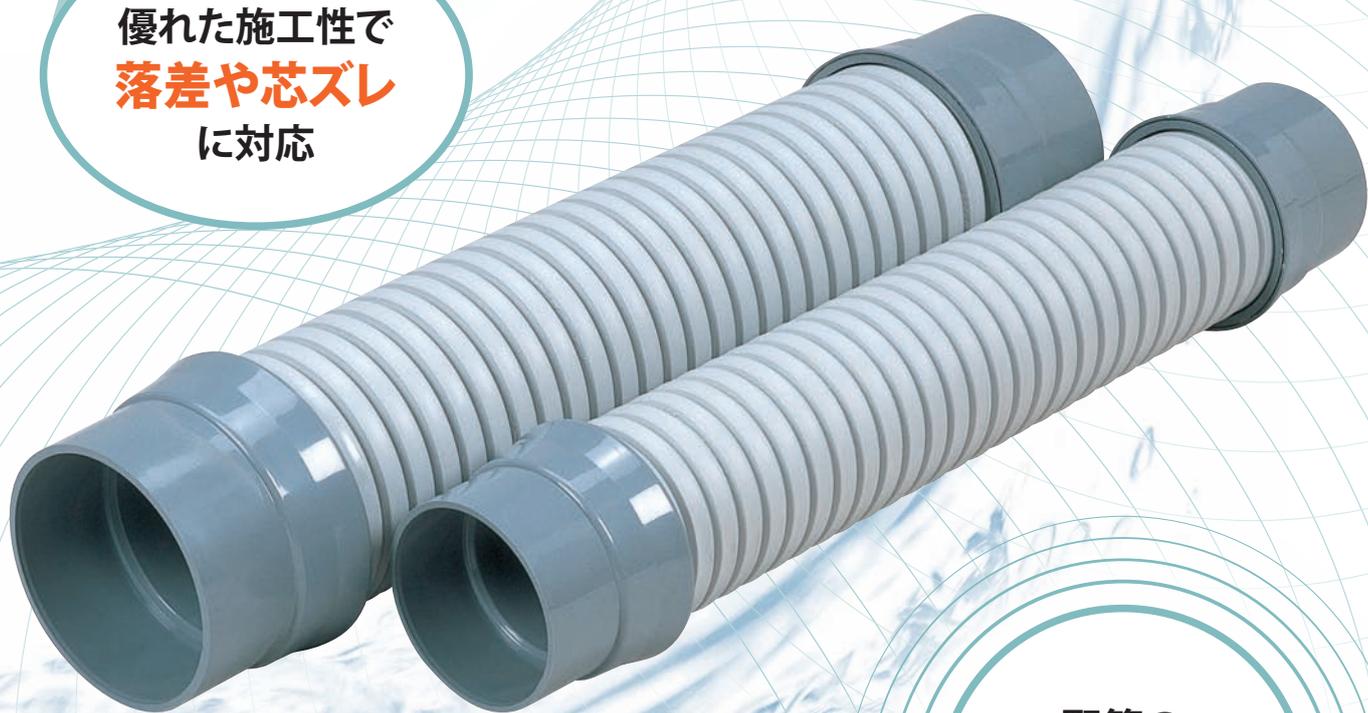
フレキシジョイント

CU FS

抜群の可とう性で
地盤沈下に対応

2つの**“もしも”**に対応します。

優れた施工性で
落差や芯ズレ
に対応



配管の
耐震対策に!

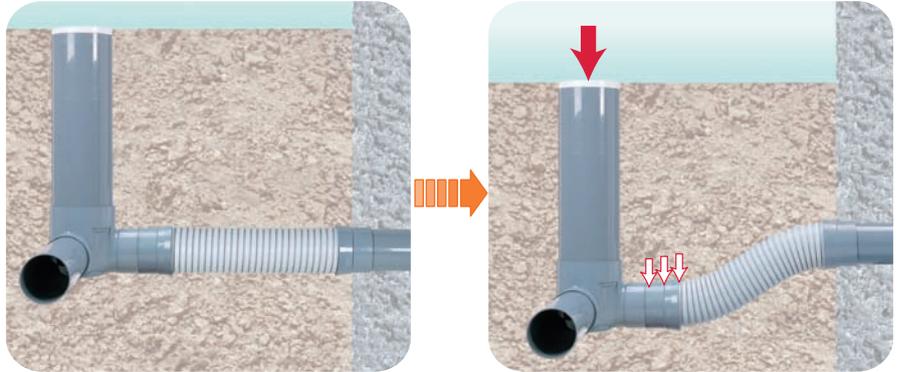
ARONKASEI CO., LTD.

フレキシジョイントは、施工後と施工時の2つの“もしも”に対応します。

施工後の“もしも”

地震などの地盤沈下に対応

屋外排水設備の沈下(地盤沈下)が予想される接続配管に最適です。



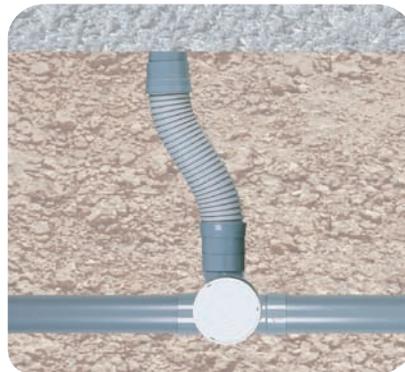
※写真はイメージです。

施工時の“もしも”

配管の芯ズレに対応

落差や芯ズレがある場合に継手を組み合わせる必要がありません。

※曲げて配管した場合は、地盤沈下に対応できない場合があります。
※許容偏芯量は技術資料をご確認ください。



※写真はイメージです。

外層 (硬質塩ビ) 特殊柔軟構造の採用により
管軸・垂直両方向の変位に対応

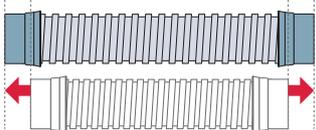
◆外層部がS字を組み合わせた構造になっているため、引っ張りや圧縮に対して十分な強度を保ちます。



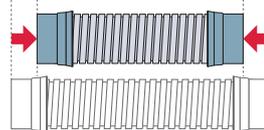
内層 (軟質塩ビ) 特殊成形により平滑な内面を実現
汚物の流下を妨げる段差がなく、維持管理用具もスムーズに通過

本体のリブ構造によりVU管と同等の埋設強度

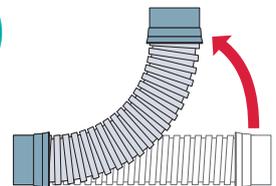
伸び!



縮み!



曲げ!



フレジジョイントCUFS製品特性

略号・サイズ	許容伸縮量 (mm)		許容偏芯量 (mm)	許容曲げ角度	偏平強度		
	伸び	圧縮			圧縮量 (mm)	線荷重 (kN/m)	
						CUFS	VU管の性能基準値
CUFS 50 × 400L	70	45	110	90°	3	2.46	規定なし
CUFS 75 × 500L	110	80	140	90°	4	2.38	1.57以上
CUFS 100 × 500L	70	80	125	60°	6	3.11	1.67以上
CUFS 125 × 800L	145	125	215	90°	7	3.10	2.45以上
CUFS 150 × 1000L	90	150	230	90°	8	3.63	3.33以上

※各許容範囲内で配管してください。

1 許容伸縮量

<引張試験>

●試験方法

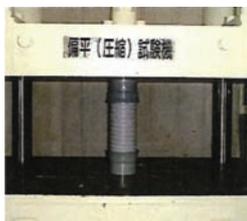
1分間に10mmの速さで引き伸ばした時の最大伸び量を計測。



<圧縮試験>

●試験方法

1分間に10mmの速さで圧縮した時の最大圧縮量を測定。



試験結果

呼び径	有効管路長	最大圧縮	最大伸び量
50	250mm	57.0mm	90.2mm
75		82.4mm	110.0mm
100		84.0mm	73.3mm
125		80.0mm	92.0mm
150		76.0mm	46.0mm

※有効管路長とはフレキシブル部全長。

※許容伸縮量は試験値より換算した値の1/2とした。

2 許容偏芯量

<垂直変位試験>

●試験方法

2本接続した管体の両端部を固定し、管接続部を垂直方向に変位させ、破損等の異常が発生する時の最大偏芯量及びそのときの偏芯力を測定。



試験結果

呼び径	有効管路長	最大偏芯量	偏芯力(1本当たり)
50	400mm	220mm	480N
75	500mm	280mm	600N
100	500mm	250mm	1000N
125	800mm	430mm	1900N
150	1000mm	460mm	2100N

※有効管路長とはフレキシブル部全長。

※許容偏芯量とは試験値の1/2とした。

3 許容曲げ角度

<曲げ試験>

●試験方法

① 人力による最大曲げ角度を測定。



② 機械による最大曲げ角度を測定。



試験結果

呼び径	有効管路長	人力曲げ限界角度	機械曲げ最大角度
50	400mm	90°以上	180°
75	500mm	90°以上	180°
100	500mm	60°	165°
125	800mm	90°以上	180°
150	1000mm	90°以上	180°

※有効管路長とはフレキシブル部全長。

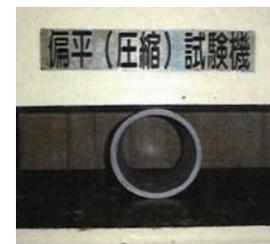
※許容曲げ角度とは人力にて曲げが可能な角度とした。

4 偏平強度

<偏平試験>

●試験方法

長さ250mmに切り取った管体を2枚の平板間にはさみ毎分10±2mmの速さで管を規定の圧縮量まで押し、そのときの荷重を測定。その後、1mに換算して線荷重を算出する。

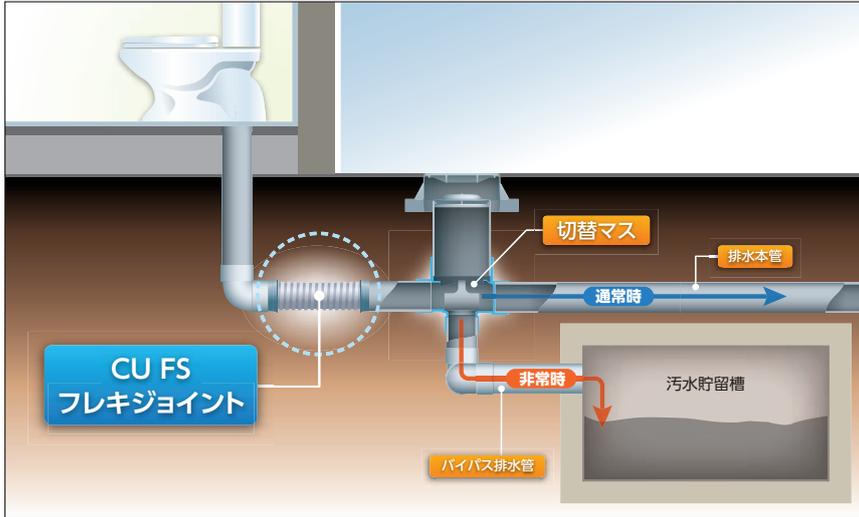


試験結果

呼び径	圧縮量 (mm)	試験荷重 (kN)	線荷重 (kN/m)
50	3	0.615	2.46
75	4	0.595	2.38
100	6	0.778	3.11
125	7	0.775	3.10
150	8	0.908	3.63

※日本下水道協会規格 下水道用硬質塩化ビニル管 (JSWAS K-1) の偏平試験による。

■ 使用例 (切替マスとの接続)



■ 施工事例



■ ラインナップ

呼び径	d ₁	d ₂	ℓ	Z	d ₃	D	価格	梱包	製品コード
50× 400L	60.5±0.3	59.5±0.3	25±5	400±10	57	69.5	—	12	5 234271-
75× 500L	89.6±0.3	88.3±0.3	40±5	500±15	83	96.5	—	6	5 234270-
100× 500L	114.8±0.4	113.2±0.4	50±5	500±15	107	123	—	4	5 234275-
125× 800L	140.9±0.4	139.1±0.4	65±5	800±15	129.5	148.5	—	1	5 234272-
150× 1000L	166.1±0.5	163.9±0.5	80±5	1000±20	153	174	—	1	5 234273-

●上記長さ (Z) 以外の製品については、別途ご相談ください。



注意事項

◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、投げ投げなどによる過度の衝撃を加えないでください。
- ・屋内で保管してください。やむをえず屋外で保管する場合は、直射日光を避け、熱気のこもらない方法によって保管を行ってください。

◆施工前のご注意

- ・排水専用です。給水・給湯など常時圧力の加わる配管には使用できません。
- ・継手は埋設で使用してください。

◆施工上のご注意

- ・アセトン、シンナー、クレンジング剤、殺虫剤、白あり駆除剤など継手の材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり、塗ったりしないでください。
- ・接着剤は、必ず清掃した管と継手の接合部の両面に薄く均一に塗布し、塗布後は速やかに接合してください。
- ・接合は規定の時間挿入力を保持し、接合後は、はみ出した接着剤を拭き取ってください。



アロン化成株式会社

管材事業部

管材企画グループ 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル
TEL(03)3502-1449 FAX(03)3502-1452

東京支店 TEL(03)3502-1488 FAX(186045)750-1602 広島支店 TEL(082)245-7100 FAX(082)245-7106
大阪支店 TEL(06)6448-5125 FAX(06)6448-5193 札幌営業所 TEL(011)709-6011 FAX(011)709-6014
名古屋支店 TEL(052)203-0378 FAX(052)231-2918 北陸営業所 TEL(0766)44-1565 FAX(0766)44-1598
福岡支店 TEL(092)741-1412 FAX(092)712-2594 四国営業所 TEL(0877)46-5201 FAX(0877)46-5202
仙台支店 TEL(022)291-5477 FAX(022)291-5479

お問い合わせは